

旧緊急時避難準備区域における日持ち性の高い トルコギキョウ栽培の実証(川内村)

福島県農業総合センター 生産環境部 福島市駐在

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付実証(県による実証研究)

研究課題名 既存研究成果を活用したトルコギキョウ栽培の実証

担当者 野田正浩

I 新技術の解説

1 要旨

避難指示区域において、地域の協力のもと、営農再開に向け既存研究成果等を活用した実証栽培を行い、農業者の営農再開に対する不安を払拭するとともに、収益性及び品質が優れた作物生産を実証することで地域の営農再開等を進める。営農再開にあたっては、花き栽培に新たに取り組みたいとの意向も多く聞かれている。

本試験では、震災以前からのトルコギキョウ生産地において、切り花品質に優れた日持ち性の高いトルコギキョウ栽培を実証するとともに、市場等への展示 PRにより求評を得た。

- (1) 基肥は、実証区が窒素成分量で1kg/a、慣行区が同 1.6kg/aとした。生育初期及び発蓄期以降における遮光は、実証区及び慣行区とも高温対策として遮光率 30%の資材を使用した。
- (2) 切り花品質は、花蕾数及び切り花重とも高い品質が得られた。実証区と慣行区で差はなかった(表2)。
- (3) 切り花の日持ち日数は、実証区が5%水準で有意に長かった(図1)。
- (4) 切り花の新鮮重は、すべての供試品種で実証区が後半まで高く推移した(図2)。
- (5) 病害虫は、2年ぶりの作付けのため発生程度に不安があったが、薬剤ローテーションによる通常防除で目立った被害は見られなかった(表3)。
- (6) 求評の結果、市場からも高評価が得られた。

以上のことから、旧避難地域において高品質で日持ち性の高いトルコギキョウが栽培された。市場評価も高かった。

2 期待される効果

- (1) トルコギキョウにおける夏秋切り栽培において、慣行栽培と比べて花持ち日数が延長される。
- (2) 花持ち日数が延長されることにより、産地における販売戦略につなげることができる。

3 活用上の留意点

- (1) 今回の実証栽培は、浜通り地方中部の標高約 400m の現地ほ場で行った結果である。
- (2) 栽培は、通い耕作による管理ではなく自宅近隣ほ場における管理である。
- (3) 防除暦は、ほ場の周辺畑の雑草管理がされている地域での結果である。
- (4) 活用した技術「トルコギキョウの切り花の花持ちを良くする栽培・出荷方法」のうち、基肥窒素施用量 1kg/a と高温期の 30%遮光を実施した場合の結果である。

II 具体的データ等

表1 2ヶ年フィルム被覆し作付けのないパイプハウスの土壤分析値

pH (H ₂ O)	EC (mS/cm)	CEC (meq/100g)	可給態リン酸 (mg/100g)	K ₂ O (mg/100g)	CaO (mg/100g)	MgO (mg/100g)
6.7	0.06	21.2	51.1	67.9	452.7	99.5

表2 切り花調査（9月15日調査）

品種	区	切花長 (cm)	節数 (節)	全花蕾 (花)	有効花蕾 (花)	切花重 (g)	調製重 (g)
ピッコローサ スノー	実証区	72.2	11.3	15.3	9.9	95.3	61.2
	慣行区	69.0	10.7	15.5	9.4	101.0	58.9
ピッコローサ ピンクピコティ	実証区	71.9	9.3	16.3	9.4	102.1	53.4
	慣行区	72.2	10.0	19.7	10.3	109.1	56.2
おりひめミニ	実証区	68.3	9.7	16.5	10.8	64.6	49.1
	慣行区	71.0	9.7	17.5	11.6	71.1	55.8
分散分析(区)		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

※有効花蕾数は、全花蕾数のうち長さ2cm以上の花蕾数 ※n=5、2反復

※調製重は、70cmに調製した後、2cm以下の花蕾及び切り口から15cmの葉や側枝を除去した重量

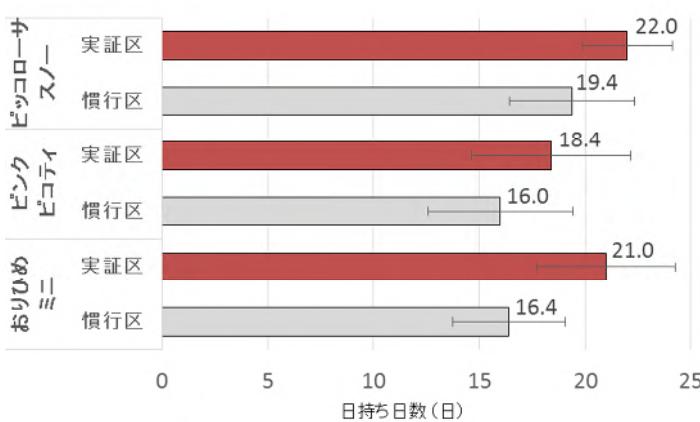


図1 切り花の日持ち日数

※エラーバーは標準偏差

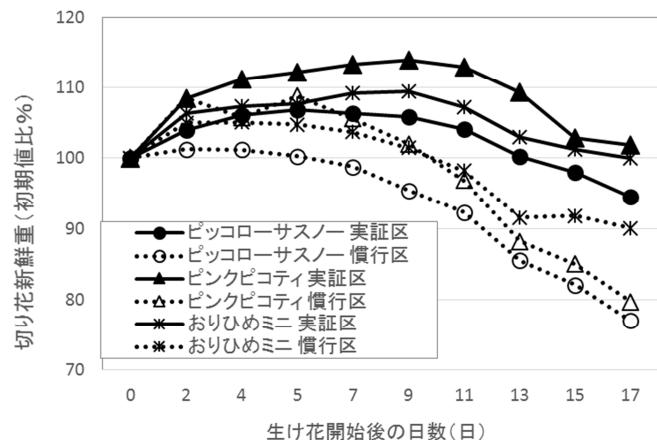


図2 切り花新鮮重の推移

表3 防除暦

	6月23日	7月7日	7月21日	8月4日	8月18日	9月2日
薬剤名	オルトラン水和剤 サンヨール	アファーム乳剤 ゲッター水和剤	オルトラン水和剤 ボリガシAL水溶剤	コテツフロアブル サンヨール	アファーム乳剤 ゲッター水和剤	ディアナSC ボリガシAL水溶剤

1 執筆者 野田正浩

2 実施期間 平成25年度

3 活用した技術のポイント(参考文献・資料等)

(1) 平成24年度普及に移しうる成果、トルコギキョウの切り花の花持ちを良くする栽培・出荷方法